



子ども食堂への食品・衣服の寄贈について ～地元企業との連携により支援の輪を拡大～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2024年11月27日（水）、さいたま市内で生産した「むさしの米」^{注1}などを、埼玉県子ども食堂ネットワーク（代表理事 東海林 尚文）に寄贈いたしますので、お知らせします。

当行では、2023年2月より、子どもたちの健やかな成長を支援するため、未使用食品などを持ち寄り埼玉県内の子どもの食堂に寄贈する「フードドライブ」運動に取り組んでおります。

今般の取組みでは、「むさしの米」、行員・家族から寄せられた未使用食品^{注2}と営業店・本部で備蓄している災害用非常食に加え、さいたま市内でクリーニング業を営む株式会社武蔵屋（さいたま市見沼区、代表取締役 小林 総子）との連携により、同社より提供いただいた「子ども服」300着を寄贈いたします。

地元企業との連携により、子どもたちの成長に必須の「食」と「衣」の支援を実現し、あわせて、地域における子ども支援の輪を拡大していくことを目指しております。

当行では今後も、埼玉の未来を担う子どもたちの健やかな成長に貢献する取組みを積極的に行ってまいります。

注1 農業分野での実践を通じ課題解決に繋げていく「むさしのアグリイノベーションプロジェクト」の一環として、さいたま市見沼区で生産したお米になります。

注2 埼玉県の「県下一斉フードドライブキャンペーン」に参加・協力したものです。

<贈呈式について>

日 時	2024年11月27日（水） 13:30～14:00		
場 所	武蔵野銀行 本店ビル2階 地域創生スペース「M's SQUARE」 （さいたま市大宮区桜木町1-10-8）		
出席者 （敬称略）	埼玉県子ども食堂ネットワーク 株式会社 武蔵屋 埼玉県福祉部 こども支援課 武蔵野銀行	代表理事 代表取締役 課長 常務執行役員	東海林 尚文 小林 総子 山崎 高延 岡部 学
寄贈品	・「むさしの米」（彩のきずな） 150キロ ・未使用食料品・災害用非常食 約100箱 ・子ども服 300着		

以上

報道機関からのお問い合わせ先
地域サポート部 地域価値創造室 石川 嘉世
TEL (048) 641-6111（代）

